

成田小学校5年-No.8 英語活動指導案 (1~100まで数えよう)

- 1 ねらい
 ・簡単な単語を使って、ゲームを楽しむ。
 ・進んで英語を使おうとする態度を育てる。

2 本時の活動

学 習 活 動	◆HRTの指導・支援 ☆留意点 & ◎児童へのアドバイス										
<p>1 はじめのあいさつ AET : Hello everyone. C : Hello ○○先生 AET : How are you? C : I'm fine thank you, and you? HRT : I'm fine thank you. How's the weather today? C : It's sunny,cloudy, rainy,snowy</p> <p>2 ♪メリーさんのひつじ♪を歌う。</p> <p>3 発音練習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>発音練習</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>10 ten</td><td>20 twenty</td></tr> <tr><td>30 thirty</td><td>40 forty</td></tr> <tr><td>50 fifty</td><td>60 sixty</td></tr> <tr><td>70 seventy</td><td>80 eighty</td></tr> <tr><td>90 ninety</td><td>100 one hundred</td></tr> </table> </div>	10 ten	20 twenty	30 thirty	40 forty	50 fifty	60 sixty	70 seventy	80 eighty	90 ninety	100 one hundred	<p>◆AETを迎える時のあいさつ「Good to see you」を覚えておき、最初に言うようにする。 ☆「クラスルーム・イングリッシュ」などを使ってはじめの雰囲気作りをする。 ☆fineの部分にいろいろな答え方ができるように、「クラスルーム・イングリッシュ」を活用する。 ◎大きな声で言うようにさせる。</p> <p>◆子どもたちと一緒に大きな声で歌うようにする。 ◎大きな動きで、大きな声を出せるようにする。</p> <p>☆AETがフラッシュカードを使って単語の発音を練習させる。 ◆子どもたちと一緒に単語を言う。</p>
10 ten	20 twenty										
30 thirty	40 forty										
50 fifty	60 sixty										
70 seventy	80 eighty										
90 ninety	100 one hundred										
<p>4 テン・ハンドレット・WOW ワオゲームをする。 【やり方】</p> <p>①7~8人のグループで円になって、座る。 ②スタートの人が、向かい合っている人を指しながら「10」と言う。 ③指された人が、今度は「20」と言いながら、違う人を指す。 ④「30」・・・「90」とどんどん続けていく。 ⑤「100」と言われたとき、指された人の両隣の人が、「ワオ」と言って両手をあげる。</p> <p>※何回でも、ゲームを繰り返してやっていく。</p> <p>3 おわりのあいさつ T : See you next time. C : See you next time.</p>	<p>◆AETとやりとりをしてゲームの内容を知らせる。</p> <p>----- HRT と AET と児童で7~8人の円になる。 AET : 「10」と言いながら、向かい合っている HRT を指す。 HRT : 「20」と言いながら、向かい合っている児童を指す。 「30」・・・「90」と続けていく。 「100」の時、指された HRT の両隣の児童が「ワオ」を言って両手を挙げる。</p> <p>----- ◆「Are you ready?」の合図で開始できるようにする。 ☆大きな声で数字を言うようにさせる。 ◎言い方がわからない時には、友達に聞いたり、教えたりする。 ☆向かい合っている人を指すが、いつも同じ人にならないように気をつけさせる。 ◆「100」までいったら、また、「100」と言われた人から、ゲームを始めるように話す。</p> <p>----- ◆「See you next time.」を言うときには、「ありがとうございます。」「また、会いましょう。」という意味がこめられるようにさせる。その場で確認する。 ◆AETの目を見て、一人一人はっきりした声できちんとあいさつしながら握手をする。 ☆評価については、「ふり返りカード」を使う。</p>										